

新しい「高等学校 芸術科 音楽Ⅰ」の教科書

『高校生の音楽1』

特集

『^{ムーサ}MOUSA1』のご紹介

[高等学校用教科書 内容解説資料]

令和8年度から高等学校用教科書『高校生の音楽1』『MOUSA1』が改訂されます。

教育芸術社では、音楽科の果たす役割を考えながら、学校教育における今日的な課題にも対応した、新しい時代にふさわしい教科書を目指して編集してまいりました。

コンセプト
人生を豊かにする
教科書



令和8年度『高校生の音楽1』

コンセプト
卒業後も手元に
残しておきたい教科書



令和8年度『MOUSA1』

本特集は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会の定める「教科書発行者行動規範」に則って編集しています。

新しい『高校生の音楽1』

人生を豊かにする教科書

音楽の多様な価値を見いだすことで、
この教科書に出会った人それぞれの人生が、少しでも豊かになるよう工夫しています。



(教科書P.2・3 口絵)

特徴 1 教材性の高い定番曲を厳選

幅広いジャンルから教材性の高い定番曲を厳選して
多数掲載しています。

特徴 2 各教材に学びのヒントを掲載

さまざまな視点から一つの作品にアプローチできる
よう、各教材に学びのヒントを掲載しています。

特徴 3 スモール・ステップを意識

小さな達成感を積み重ねられるよう、スモール・ス
テップを意識した構成にしています。

特徴 4 音楽の魅力や不思議に迫る 「音楽って何だろう？」

音楽そのものの魅力や不思議に、さまざまな視点から
迫るシリーズをさらに充実させました。

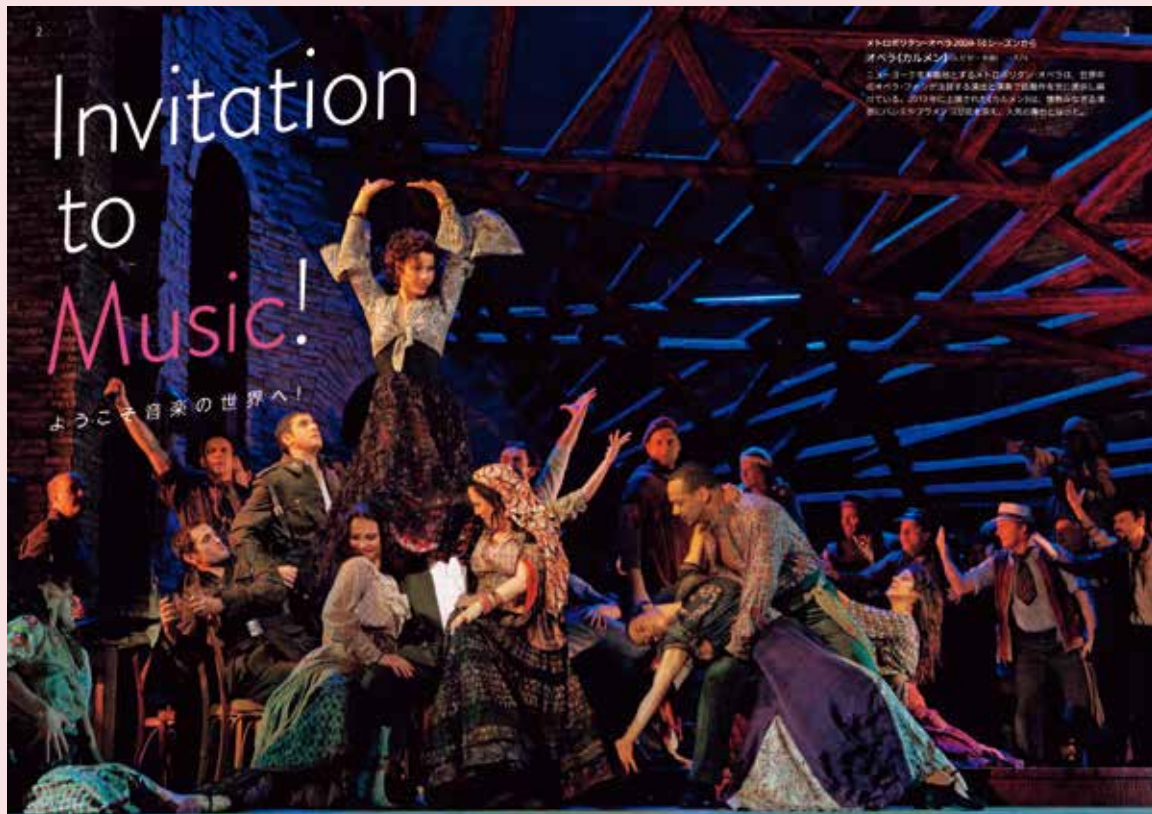
特徴 5 二次元コードコンテンツの充実

ピアノ伴奏、原語歌詞の朗読やリズム読み、器楽教
材の範奏動画をはじめ、授業に役立つコンテンツを
さらに充実させました。

新しい『MOUSA 1』

卒業後も手元に残しておきたい教科書

音楽の魅力を余すところなく伝えつつ、
より身近な存在となるよう、主体的、多面的な学びを意識して編さんしました。



(教科書P.2・3 口絵)

特徴 1 授業スタイルに合わせて選曲できる！

○ さまざまなジャンルから教材性の高い曲を厳選

「ジャンル別MAP」を示すことで、生徒が幅広く音楽と関わるができるよう、また、多様な状況に対応できるよう配慮しています。

特徴 2 どの教材も扱いやすい！

○ 生徒に日々接している先生方の実践的なアイデアを具現化

『MOUSA 1』に掲載している歌唱や器楽の全ての教材については、著者と編集部が試演を重ね、音域や演奏のしやすさなどを検討しました。また、創作では、生徒が取り組みやすい手順を示しています。

特徴 3 丁寧な学習プロセスの提示！

○ 生徒が達成感を得られる内容

これまでの個々の音楽経験に関係なく、全ての生徒が「楽譜を読めるようになった」「楽器を演奏できるようになった」と実感できるよう、段階を踏んで取り組める内容になっています。

『高校生の音楽1』は、新しく

1 「楽譜を読もう」新設！

読譜力を身に付けるために、12の小曲を掲載しました。機械的に練習するのではなく、音楽的感性を養いながら取り組める、完成度の高いものを取りそろえました。それぞれ拍子、速度、調、強弱、曲調などが異なるため、表現を工夫しながら読譜力を身に付けることができます。

無理なく取り組めるよう、スモール・ステップを意識した手順を提示

(教科書P14・15)

豊かな表現を促すピアノ伴奏音源を収録

各曲の読譜に必要な楽典の知識を、ページ下部に提示

2 《Happy Birthday to You》を6か国語で掲載！

世界中で広く歌われている曲《Happy Birthday to You》を、英語、韓国語、中国語、イタリア語、ドイツ語、フランス語の歌詞とともに掲載しました。外国語による歌曲に取り組む準備として、また国際交流イベントなどで活用することもできます。

(教科書P24)

生まれ変わりました！



3 新曲《ハルモニア・ステップス》！

基本の8小節のメロディーを繰り返しながら、斉唱から輪唱、混合二部合唱、混声三部合唱、混声四部合唱へと変化していく作品で、さまざまな形態による豊かな響きをこの一曲で味わうことができます。授業の始まりに行う発声練習としても最適です。

(教科書P50・51)

ハルモニア・ステップス

一つの旋律をもとに、声部から輪唱、混合二部合唱、混声三部合唱、混声四部合唱へと変化していく作品。

●斉唱、輪唱、合唱（混合二部、混声三部、混声四部）の響きの違いを感じ取りながら、「la」などで歌おう。
●パートどうしで合わせるが難しいと感じる部分とその理由を話し合い、よりよい表現を模索しよう。
●練習を付けるとしたらどのように付けたいか考えて、表現を工夫しよう。

混声三部合唱

混声四部合唱

発声練習にも最適な基本の8小節のメロディー



こちらの二次元コードより、楽曲の一部をご視聴いただけます。

教科書に掲載されているものとは別アレンジによるピアノ伴奏音源を収録

4 「おじぎのコードを弾こう」新設！

授業の始まりと終わりに、生徒に「おじぎのコード」を弾いてもらいましょう。C→G→Cだけでなく、C→F→CやC→G→Amなどにアレンジすることで、楽しみながらコードに親しむことができます。

授業の始まりと終わりに、「おじぎのコード」を弾こう

①鍵盤図を参考に下の「おじぎのコード」を弾こう。

②「おじぎのコード」をアレンジして弾く。ユニアソンスの響きを感じ取る。

おじぎのコード

アレンジ例

①C→G→C ②C→F→C ③C→G→Am ④D→A→D

(教科書P66)

歌唱・器楽

スモール・ステップを意識し、さまざまなジャンルから教材性の高い定番曲を厳選して掲載しています。

歌唱 イタリア語の歌

- 《Santa Lucia》(サンタ・ルチア) ナポリ民謡
 《Bella ciao》(やあ 娘さん) イタリア民謡
 《Caro mio ben》(いとしの わがきみ) ジョルダニー
 《Nessun dorma》(誰も寝てはならぬ) プッチーニ

原語歌詞の単語の意味と日本語訳を掲載

《Caro mio ben》(いとしの わがきみ)	
Caro mio ben, / credimi almeno, いとしい 私の恋人よ、私を信じておくれ、	
senza di te / languisce il cor. あなたがいないと、私の心は弱り果てる。	
Il tuo fedel / sospira ognor. あなたの忠実な心を、私はいつもため息をつく。	
Cessa, crudele, / tanto rigor! やめてくれわがきみよ、過酷な仕打ちを!	

(教科書P33)

器楽 篠笛(スモール・ステップの例)

探り弾きしながら篠笛の音色を味わえる曲

- 《いしやきいも》《もういいかい》
 《たこ たこ あがれ》《ほたるこい》

篠笛の表現力の豊かさを味わえる曲

- 《荒城の月》《うさぎとかめ》

表現を工夫できる、やや難易度の高い曲

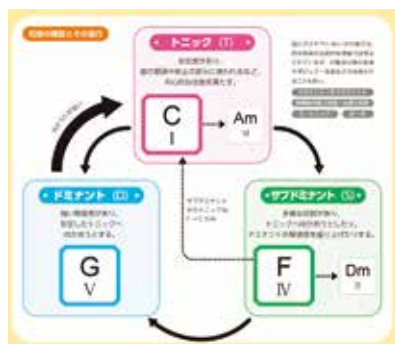
- 《鼓動の舞》

創作

「トニック」「ドミナント」「サブドミナント」の機能や基本的な和音進行を理解したうえで、和音進行を考えたり、和音と旋律でピアノ曲をつくったり、つくった曲をアレンジしたりする教材を掲載しています。

無理なく取り組めるようスモール・ステップを意識した紙面構成

和音の機能とその進行を理解する



和音進行を考える

和音進行を考えよう

① 音を弾きながら□に入る和音を下から選べ、□に和音記号またはコード・ネームを、五線に旋律を書こう。
 ただし、ここでの和音は音楽の基礎知識として覚えておく。同じ和音を連続して用いることはできない。これは厳格である。

② ①の和音進行を五線に記す。

③ ②の和音進行を五線に記す。

(教科書P83)

和音と旋律でピアノ曲をつくる

和音と旋律でピアノ曲をつくろう

① 前半と後半の和音進行をそれぞれ下の例から選んで記入しよう。Aの1/2は、1/2の和音進行を使ってもよい。

② 拍子を決めて記入し、各和音の構成音を中心に旋律をつくらせて記入しよう。

③ 速度、強弱、スラーやスタッカートなどを考えて記入し、最終に楽譜を付けよう。

(教科書P84)

つくったピアノ曲をアレンジする

つくったピアノ曲をアレンジしよう

① 全ページでつくったピアノ曲を、下の《さまざまなアレンジ例》を参考にアレンジしよう。

さまざまなアレンジ例 (教科書P84の例を1/2)

② ①の和音進行を五線に記す。

③ ②の和音進行を五線に記す。

(教科書P85)

好評をいただいている「西洋音楽史」をさらに充実させました。各時代の音楽的特徴を捉えやすい定番曲を厳選し、全30曲を鑑賞教材として掲載し、時代と作品との関連を分かりやすく示しました。音楽史は、当時の音楽の流行と関わりの深い文化的・歴史的背景にもしっかり触れることができるようにしています。

各時代の音楽的特徴を理解しやすい定番曲

132

ロマン派①

19世紀前半から20世紀前半

市民階級の音楽

19世紀の音楽は、急進に変化した市民階級とともに発展した。音楽は、教会や宮廷だけでなく、広間コンサートホール型のパヴェンでも演奏されるようになり、そこでは音楽がピアノ演奏が好まれた。アメリカスとして認識するようになった演奏会とその需要に促されて多くの作品をつくり出し、楽団も増加した。

ピアノの発展

目的は音楽を演奏する音楽家としてのピアノは18世紀後半に開発された。時代を遡るとピアノは音楽の最大の改良が知られた。その後の音楽家から、18世紀後半の音楽音楽に傾いて初めて重要な役割を担うようになった。

19世紀後半のピアノピアノは、ピアノで演奏されたピアノの音楽。

ピアノを演奏する人

ヴィルトゥオーゾの登場

音楽的な才能が豊富で、技術や才能、音楽について語り合ったコンサートでは、絶頂的な演奏技術を持つ「ヴィルトゥオーゾ」と呼ばれる天才的な演奏家が登場してはきた。ヴィルトゥオーゾではピアノ、ピアノではピアノやリストなどその代表者である。

ピアノでピアノを演奏する人

さまざまな音楽ジャンルの発展

この時代には、音楽やオペラなどの、さまざまな音楽ジャンルも発展した。

交響曲	古典的な音楽を現代音楽から一歩引いた、メンデルソフ、ショパン、ブラームス、ワーグナー、モーツァルト、ベートーヴェンが代表的な作曲家として活躍した。
交響曲	音楽的な才能が豊富で、技術や才能、音楽について語り合ったコンサートでは、絶頂的な演奏技術を持つ「ヴィルトゥオーゾ」と呼ばれる天才的な演奏家が登場してはきた。ヴィルトゥオーゾではピアノ、ピアノではピアノやリストなどその代表者である。
交響曲	音楽的な才能が豊富で、技術や才能、音楽について語り合ったコンサートでは、絶頂的な演奏技術を持つ「ヴィルトゥオーゾ」と呼ばれる天才的な演奏家が登場してはきた。ヴィルトゥオーゾではピアノ、ピアノではピアノやリストなどその代表者である。
オペラ	19世紀後半には、音楽やオペラなどの、さまざまな音楽ジャンルも発展した。
ピアノ音楽	19世紀後半には、音楽やオペラなどの、さまざまな音楽ジャンルも発展した。

音楽の発展

フランツ・リスト (1811-1886)
リストは、音楽やオペラなどの、さまざまな音楽ジャンルも発展した。

ヨハンネス・ブラームス (1833-1897)
ブラームスは、音楽やオペラなどの、さまざまな音楽ジャンルも発展した。

フレデリック・ショパン (1810-1849)
ショパンは、音楽やオペラなどの、さまざまな音楽ジャンルも発展した。

ロベルト・シューマン (1810-1856)
シューマンは、音楽やオペラなどの、さまざまな音楽ジャンルも発展した。

フランツ・リスト (1811-1886)
リストは、音楽やオペラなどの、さまざまな音楽ジャンルも発展した。

ヨハンネス・ブラームス (1833-1897)
ブラームスは、音楽やオペラなどの、さまざまな音楽ジャンルも発展した。

音楽は、教会や宮廷だけでなく、広間コンサートホール型のパヴェンでも演奏されるようになり、そこでは音楽がピアノ演奏が好まれた。アメリカスとして認識するようになった演奏会とその需要に促されて多くの作品をつくり出し、楽団も増加した。

[illegible]

(教科書P132・133)

各時代の音楽を理解するために
重要な文化的・歴史的背景を掲載

各時代の知っておきたい 主要な作曲家を紹介

交響曲第9番 第4楽章

ニルヴェーネ

作曲者: フリッツ・クレンゲル
 編曲者: 小島俊文

【00:00】 序の部(ニルヴェーネ)

【00:15】 第一主題(ニルヴェーネ)

【00:30】 第二主題(ニルヴェーネ)

【00:45】 第三主題(ニルヴェーネ)

【01:00】 第四主題(ニルヴェーネ)

【01:15】 第五主題(ニルヴェーネ)

【01:30】 第六主題(ニルヴェーネ)

【01:45】 第七主題(ニルヴェーネ)

【02:00】 第八主題(ニルヴェーネ)

【02:15】 第九主題(ニルヴェーネ)

【02:30】 第十主題(ニルヴェーネ)

【02:45】 第十一主題(ニルヴェーネ)

【03:00】 第十二主題(ニルヴェーネ)

【03:15】 第十三主題(ニルヴェーネ)

【03:30】 第十四主題(ニルヴェーネ)

【03:45】 第十五主題(ニルヴェーネ)

【04:00】 第十六主題(ニルヴェーネ)

【04:15】 第十七主題(ニルヴェーネ)

【04:30】 第十八主題(ニルヴェーネ)

【04:45】 第十九主題(ニルヴェーネ)

【05:00】 第二十主題(ニルヴェーネ)

【05:15】 第二十一主題(ニルヴェーネ)

【05:30】 第二十二主題(ニルヴェーネ)

【05:45】 第二十三主題(ニルヴェーネ)

【06:00】 第二十四主題(ニルヴェーネ)

【06:15】 第二十五主題(ニルヴェーネ)

【06:30】 第二十六主題(ニルヴェーネ)

【06:45】 第二十七主題(ニルヴェーネ)

【07:00】 第二十八主題(ニルヴェーネ)

【07:15】 第二十九主題(ニルヴェーネ)

【07:30】 第三十主題(ニルヴェーネ)

【07:45】 第三十一主題(ニルヴェーネ)

【08:00】 第三十二主題(ニルヴェーネ)

【08:15】 第三十三主題(ニルヴェーネ)

【08:30】 第三十四主題(ニルヴェーネ)

【08:45】 第三十五主題(ニルヴェーネ)

【09:00】 第三十六主題(ニルヴェーネ)

【09:15】 第三十七主題(ニルヴェーネ)

【09:30】 第三十八主題(ニルヴェーネ)

【09:45】 第三十九主題(ニルヴェーネ)

【10:00】 第四十主題(ニルヴェーネ)

【10:15】 第四十一主題(ニルヴェーネ)

【10:30】 第四十二主題(ニルヴェーネ)

【10:45】 第四十三主題(ニルヴェーネ)

【11:00】 第四十四主題(ニルヴェーネ)

【11:15】 第四十五主題(ニルヴェーネ)

【11:30】 第四十六主題(ニルヴェーネ)

【11:45】 第四十七主題(ニルヴェーネ)

【12:00】 第四十八主題(ニルヴェーネ)

【12:15】 第四十九主題(ニルヴェーネ)

【12:30】 第五十主題(ニルヴェーネ)

【12:45】 第五十一主題(ニルヴェーネ)

【13:00】 第五十二主題(ニルヴェーネ)

【13:15】 第五十三主題(ニルヴェーネ)

【13:30】 第五十四主題(ニルヴェーネ)

【13:45】

譜例、原語歌詞、発音、日本語訳を
見やすくレイアウト

大人気の鑑賞教材、ベートーヴェン作曲《交響曲第9番》第4楽章を引き続き掲載しています。今回の改訂では、バリトン独唱以降の譜例と歌詞を一つの見開きページにまとめました。

(教科書P128・129)

新しい MOUSA 1 改訂のポイントは――

POINT 1

分かる・
できる

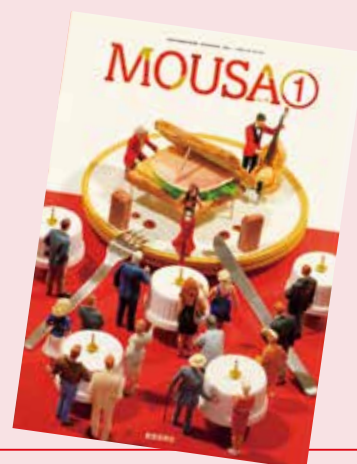
POINT 2

コミュニ
ケーション力

POINT 3

学びに
向かう力

現行『MOUSA 1』における改訂のポイントを引き継ぎ、
さらに充実した学習を促すよう工夫しました。



POINT 1 分かる・できる

スモール・ステップを意識した構成

読譜が苦手であっても、まずはリズムから親しめるよう、リズムを意識できるような問いや教材を教科書の前半に掲載しました。

めいなぼくじゃない

しらず しらず かく してた ほんとうの こえを ひびか せてーよ、ほら
しらず しらず かく してた ほんとうの こえを ひびか せてーよ、さあ

みない フリ し
みない フリ し

Non Chord(N.C.): コードなしで

23小節目から(78小節目からも同様)「♪」のリズムが繰り返されている。それによって生み出される効果について考えてみよう。

歌謡曲からJ-POPへの100年 116ページ

(教科書P.13)

リズムを意識できるような問いを設置。「考えてみよう!」コーナーについてはP.27で詳しく解説しています。

分割されたリズムを打つ練習

「3連行」や右ページで説明している「シンコペーション」のリズムの感覚をつかむために、次の譜例を打ってみよう。1～8のリズムを通して打てるようになったら、順番を入れ替えて打とう。また、各自1つずつリズムを選び、順に続けて打とう。



(教科書P.14)

教材に関連したソルフェージュ課題を取り上げ、スモール・ステップで効果的な学習を促します。

リズムを正確に打つ練習

拍を感じながらリズムを打とう。その際、休符が短くならないように注意しよう。



(教科書P.18)

スモール・ステップを意識した紙面

生徒が達成感を1つずつ積み重ねていけるように工夫しました。

弦を押さえた左手の指をそのままスライドさせてストロークで演奏することで、簡単にギターの演奏を体験できます。

46

ギター

ギターは西洋の楽器と見られるが、初めて記録に登場するのは12世紀のことである。現在知られるクラシック・ギターは、19世紀末にスペインのギター製作者が改良を試み、20世紀に入るとさまざまな種類のギターが作られ、ジャズやロックなど幅広いジャンルで用いられるようになった。

各部の名前

ギターはクラシック・ギター（→P.91）、フォーク・ギター、エレクトリック・ギター（→P.112）に大きく分けられる。形状は似ているが、フォーク・ギターはクラシック・ギターに比べてボディが少し大きく、音域がやや高くなっている。ここではフォーク・ギターを取り上げる。



姿勢と構え方

ギターの構え方

- ギターのボディを膝の上に乗せ、ボディの中心を右足の付け根に合わせる。
- ネックを右足の付け根に合わせる。
- ネックを右足の付け根に合わせる。
- ネックを右足の付け根に合わせる。

ギターの構え方

- ギターのボディを膝の上に乗せ、ボディの中心を右足の付け根に合わせる。
- ネックを右足の付け根に合わせる。
- ネックを右足の付け根に合わせる。
- ネックを右足の付け根に合わせる。

チューニング

チューナーを使って各開放弦の音を合わせる方法の他、まず第1～5弦の開放弦の音をピアノで合わせ、その音を基準に残りの弦を順に合わせる方法もある。いずれの場合も、ヘッドを回して音高を調節する。その際、音が低すぎる場合は、いったんその音より高くしてから少しずつ上げていく。



47

左手のポジション確認

右の譜例を低い音から順に弾いて左手のポジションを確認しよう。ポジションを覚えたら、《木星》のメロディーを低い音域、高い音域の順に演奏してみよう。

この譜例が「TAB（タブ）」であることを示す。TAB（タブ）譜の読み方 65ページ

木星（管弦楽組曲《惑星》から）

グスタフ・ホルスト 作曲

Andante maestoso



弦を押さえた指をスライドさせて演奏しよう

STEP 1

1. 右図の如く左手の指で弦を押さえて（下の写真参照）、「ダウン・ストローク」（→P.48）で、①のリズムを演奏しよう。

2. 次に、②に示すように弦を押さえて、同様に演奏しよう。

3. ③の如く、1小節ずつ左手をスライドさせて演奏しよう。

そのとき、指を弦からあまり離さないように注意しよう。



STEP 2

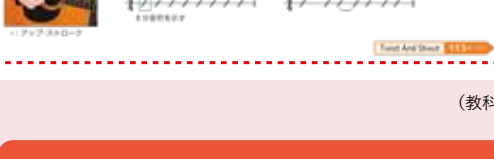
下図のように弦を押さえて、STEP 1と同様に演奏しよう。



チャレンジ

リズムを変えて演奏しよう。

「アップ・ストローク」（→P.49）も加えて、④の下の2つのリズムに変えて演奏しよう。



(教科書P.46・47)

ストロークで演奏する前に1ステップ

左手でいきなり複数の弦を押さえるのではなく、まずは1音ずつフレットの位置を確認します。

準備段階では生徒がよく知っている楽曲《木星》を取り上げました。和楽器の三線を扱ったページ(教科書P.90・91)も同様に、「勘所」を確認するステップとして生徒がよく知る《島唄》を掲載しました。

左手のポジション確認

右の譜例を低い音から順に弾いて左手のポジションを確認しよう。ポジションを覚えたら、《木星》のメロディーを低い音域、高い音域の順に演奏してみよう。

木星（管弦楽組曲《惑星》から）

グスタフ・ホルスト 作曲

Andante maestoso



取り組みやすさに配慮した選曲

取り組みやすく、かつ、生徒がよく知っている楽曲を増やしました。一例として、『小学生の音楽6』に掲載されている《いのちの歌》を、『MOUSA 1』（教科書P.66・67）ではリコーダーの教材として取り上げました。歌詞を載せて、二部合唱としても使用できるようになっており、「授業の始めに二部合唱できる簡単な曲が欲しい」という声にも対応しています。

より楽しく、気軽にグループ活動に取り組めるアンサンブル教材を掲載



(教科書P24～26)

ヴォイス・パーカッションの
演奏例を動画を確認できます。

ヴォイス・アンサンブル

アベタカヒロ氏によりヴォイス・アンサンブル用に編曲された《残酷な天使のテーゼ》を新たに掲載しました。

ヴォイパのコツについて説明



合唱曲

佐井孝彰氏の《言わない》(同三／伴奏付き)に加え、信長貴富氏の《早春》(混三／伴奏付き)、三宅悠太氏の《いつか、海へ》(混四ア・カペラ)を新たに収録しました。その他、取り組みやすいア・カペラの入門曲やミュージカル・ナンバーも取りそろえました。

宮下奈都氏(作家)と三宅悠太氏(作曲家)
による、本書のための書き下ろし作品



(教科書P129～131)

こちらの二次元コードより、
楽曲の一部をご視聴いただけます。



ポピュラー・ソング

歌謡曲からJ-POP、ミュージカル・ナンバーまで、
それぞれの時代を彩った歌を選びました。

2020年代 《群青》(P.12・13)

2000年代 《いのちの歌》(P.66・67)
《若者のすべて》(P.16・17)

1990年代 《残酷な天使のテーゼ》(P.24～26)
《歩いて帰ろう》(P.15)

1980年代 《クリスマス・イブ》(P.119)

1970年代 《翼をください》(P.14)

1960年代 《真赤な太陽》(P.118)

1950年代 《Do-Re-Mi》(P.70・71)

会話を参考に《この道》を分析

「主体的・対話的で深い学び」の本質に触れることができます。

[illegible]

(教科書P.36・37)

POINT 3 学びに向かう力

「考えてみよう！」コーナーの新設

生徒が楽譜に興味をもち、音楽について主体的に考えるきっかけとして、それぞれの楽曲の特徴について、音楽を形づくっている要素などに着目して考えることのできる問いを用意しました。

23小節目から17小節目までについて考

23小節目から17小節目までについて考

音楽の時間から17小節目までの1700年

(教科書P.13)

楽曲それぞれに最適な問いを設置

※レイアウト等の都合により、全ての楽曲に設置されているわけではありません。

考えてみよう!

- 曲中に16分休符や8分休符が出てくるが、休符が入ることでのどのような効果が生まれているか考えてみよう。
- 1番と比べ、2・3番ではどのような変化が付けられているか考えてみよう。

② 二声の口は日本でも最初に作られた
合奏曲の一つで、楽譜が3部3拍。自
筆のもの(昭和)ととも1900年に出版された楽
譜(昭和)に収められている。



●曲中に1拍休符や8分音符が出てくるが、演奏するにあたってど
のような楽譜が書かれているかを考えてみよう。
○1番と比べ、2・3番ほど足のような動きが付けられていて長を考へて
てみよう。

③ 日本鼓・簀篳・鈴の心を大切に聴こう！日本鼓の鼓頭が可愛い！

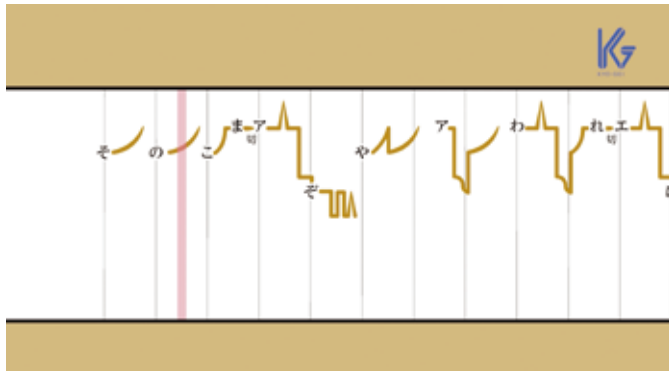
(教科書P.34)

二次元コードコンテンツ

高校生の音楽 1

西洋音楽、世界の諸民族の音楽、日本音楽の鑑賞に役立つ動画などを豊富に収録しています。

日本音楽の手本動画



雅楽《其駒》の手本

こちらの二次元コードより、
実際の二次元コードコンテンツを
ご視聴いただけます。



日本音楽の鑑賞は、絵譜を
見ながら音源を聴ける動画
で手厚くサポートします。

鑑賞動画



〈ラ・カンパネラ〉演奏



ジャワ・ガムランの解説

西洋音楽や世界
の諸民族の音楽
の動画も用意し
ています。

MOUSA 1

音声や動画など充実した二次元コードコンテンツを用いて、実際に視聴しながら確認することにより、知識を確実に習得できます。

こちらの二次元コードより、
実際の二次元コードコンテンツを
ご視聴いただけます。



指揮の振り方を動画で分かりやすく解説



指揮にチャレンジ

ドラムスの演奏方法を動画で確認



バンド・アンサンブルに挑戦

教科書に縦書き歌詞が掲載されていない
教材は歌詞を表示。その他、発声や楽器
の奏法などを動画でサポートします。

その他のコンテンツ



ピアノ伴奏のある表現
教材はピアノ伴奏を聴
くことができます。

コードの押さえ方を動画で確認



《Heidenröslein》
(野ばら)の朗読



ギター／キーボード・コード表

その他、外国語歌曲の原語歌詞の朗読やリズム読みなどで学習をサポートします。



デジタル・コンテンツの活用につなげる

教科書の創作ページは、キーボードなどを使いながら音の組み合わせや
つなげ方を試し、五線に記入する従来の方法に加え、五線の代わりにICT
機器や音楽Webアプリケーション(「カトカトーン」など)を用いて学習で
きる内容となっています。

カトカトーンについて

教育芸術社が開発した、Webブラウザ上で楽しく感覚的に音楽制作がで
きる音楽Webアプリケーション。



こちらの二次元コードより、
カトカトーンの詳しい
情報をご覧いただけます。

予告 教師用WEBコンテンツについて

「各教材のワークシート(Word・PDF)」 「カトカトーンのサンプルファイル(ktk)」他、
学習を支援するコンテンツをホームページから自由にご利用いただけます(現在準備中)。

最新情報：教芸Webサイト <https://www.kyogei.co.jp/>